

第2 実践事例

事例1 学級活動(1) 学級や学校における生活づくりへの参画

「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」の事例

- 学年 第3学年
- 主な内容 仲間と協働し、豊かな生活づくりに取り組む学級活動の展開
- 事例のポイント
 - ①議題の選定と提案理由を明確化する。
 - ②合意形成を図るためのイメージを共有するとともに、板書を工夫する。
 - ③学級活動委員への事前指導と意欲的に学級会を迎えるために、全体指導を工夫する。
 - ④ねらいを実現するために共通理解を大切にしたい指導となるよう工夫する。
 - ⑤学級活動の学習過程において効果的にICT端末を活用する。

1 議題 「用務員さんへ感謝を伝える会をしよう」

2 生徒の実態と議題選定の理由

本学級の生徒は、一人一人の個性が豊かで、互いのよさを認め合い、誰に対しても優しい生徒が多い。また、仲間と一緒に活動する場面でも前向きに取り組める。1年生の時から学級会の実践をしてきており、「みんなで話し合っ、決めたことを、全員で役割をもち、みんなで実践することは楽しい」と感じている生徒が多くいる。これらの実践は、連帯感を高めることにもなり、授業態度や当番活動、清掃の取組にもよい影響が出ている。今後も学級会の実践を積み重ね、楽しく豊かな学級生活の充実を図りたい。

第3学年において年間の大きなテーマは「感謝」である。本実践においては、担任から普段、直接関わる機会の少ない学校用務員さんについて、様々な仕事をしてくれていることを紹介すると、生徒は「知らなかった」と驚き、感謝を伝える会を開きたいとの声が出されたことから、議題を選定した。

生徒が用務員さんのことを考えながら「自分もよくみんなもよい」という合意形成ができるように指導を工夫した。また、本実践を通して、よりよい学級生活を自分たちで創ろうとする自治的能力や、自主的、実践的な態度を高めていくことを目指した実践である。

3 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり、振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

事例のポイント⑤

ICT端末で提案理由の文案を持参させると、修正が容易である。

4 事前の活動

日時	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿【観点】(評価方法)
9月9日 (昼休み) 提案者 学級活動委員	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由の練り上げ ・司会グループの役割を分担する。 ・決まっていることを確認する。 ・学級会の進行を確認する。 <p>編 P186 指導計画作成の留意事項(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい提案理由が作成できるように、生徒が協力して楽しく活動し、相手のことを考え、心を込めた会を開くという視点を踏まえるように助言する。 ・学級会の進め方の手順や留意点について確認する。 	<p>◎進行について理解している。 【知・技】(発言・観察)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>事例のポイント③ 学級活動委員が自信をもって進行できるように「学級会の流れ(マニュアル)」を確認しておく。決まっていることや準備期間、時間配分等を確認しておくことで会のイメージがもちやすくなる。</p> </div>

9月20日 (昼休み) 学級活動委員	<ul style="list-style-type: none"> ミニ黒板に提案理由や決まっていることなどを記入し掲示する。 「当日の次第」を掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 決まっていることを示すことでイメージの共有化、話合いの焦点化を図る。
--------------------------	--	--

ミニ黒板への板書	① やる日 十月二十五日(月) 五時間目 ② 場所 多目的室 ③ プレゼント二つ、やること一つを決める ④ 準備期間 十月十八日から二十二日まで ⑤ お金がかからないもの ⑥ 終わりの言葉() ⑦ 終わりの言葉()	用務員さんへ感謝を伝える会 ① 始めの言葉() 司会() ② ※話合いで決めること ③ プレゼント贈呈 ④ 写真撮影(カメラ先生) ⑤ 用務員さんからひと言 ⑥ 感想発表() ⑦ 終わりの言葉()	第3回学級会 議題 用務員さんへ 提案理由 感謝を伝える会をしよう	(今) 用務員さんは、私たちの見えないところで様々なお仕事をしてくださっています。安全に生活できているのも用務員さんのおかげです。でも、直接関わる機会が少なく感謝の気持ちが伝えられません。 (だから) 用務員さんに感謝を伝える会が開ければよいと思います。 (こうなる) 私たちの思いも伝えられるし、用務員さんにも喜んでもらえて、一緒に思い出もできるので提案します。	めあて 友達の見え方を大切にしながら、たくさん発表しよう。
-----------------	---	---	--	--	-------------------------------

事例のポイント② 会の次第を示すことで、当日の流れやゲームの所要時間等の見通しがもてる。	事例のポイント② やる日、場所、何を決めるか、準備に使える時間などを示すことで話し合う条件付けができる。	事例のポイント① 提案理由の明確化をねらい、「今(学級の現状)」「だから(解決策)」「こうなる(解決後のイメージ)」の柱で提案理由を構成している。
---	---	--



10月1日 (帰りの会) 全員	<ul style="list-style-type: none"> 学級会ノートに自分の考えを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 提案理由や決まっていることを踏まえた意見が出せるように助言する。 	◎用務員さんへ感謝を伝える会に関心をもち、見通しをもって話合いに取り組もうとしている。 【態】 (学級会ノート)
10月4日 (放課後) 学級活動委員	<ul style="list-style-type: none"> 学級会ノートに書かれた意見を整理して短冊に記入し、教室に掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 短冊の内容について分からないものは意見を出した生徒に説明してもらう。「決まっていること」に合わないものがないか確認する。 	◎学級活動委員の役割や話合いの効率的な進め方を理解している。 【知・技】 (観察)
10月6日 (昼休み) 提案者	<ul style="list-style-type: none"> 用務員さんにインタビューをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 用務員さんのことを学級の生徒たちが知るきっかけにする。 	事例のポイント④ 「誰に感謝を伝えるため」なのか「なぜ」この会を開くのかを明確にできる。

5 本時の活動

(1) ねらい

提案理由を踏まえた自分の考えをもつとともに、仲間の考えを受け入れながら合意形成を図ることができる。

(2) 展開

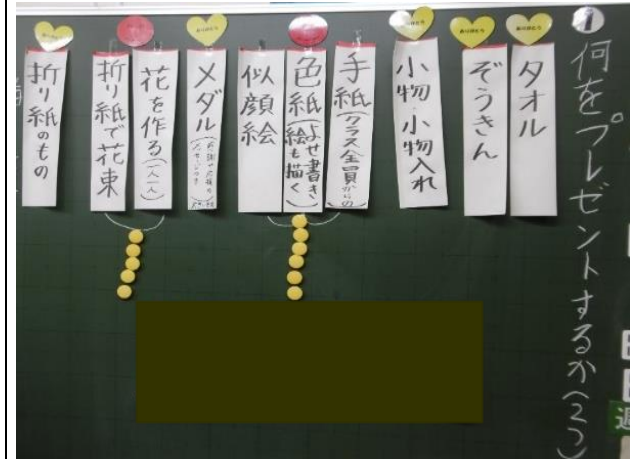
活動の内容	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】 (評価方法)
1 始めの言葉 2 学級活動委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認 5 話合いのめあての確認 6 決まっていることの確認 7 用務員さんに聞いたインタビュー発表 8 教師の話	輪番の学級活動委員、コの字隊形、事前に短冊の内容は全体で確認しておく。 ・学級全体の問題であることを伝える。 ・決まっていること(条件)を全員で共通理解できるようにする。  ありがとう マーク  決定マーク	話し合いの進め方 ◎賛成意見と理由を発表していく。 ◎反対意見を出すときは、合意意見や心配なことなどを発表する。 ◎賛成……黄マグネットを付ける。 ◎反対……青マグネットを付ける。 ◎決定したものに決定マークを付ける。 ◎決まらなかったものには、ありがとうマークを貼り、短冊は黒板から外さない。

9 話し合い
話し合うこと①
「何をプレゼントするか」
(二つ決める)

「一緒に楽しむこと」
(一つ決める)

・「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の流れで話し合いを進める。
・限られた時間の中で話し合うことを踏まえ、①については「比べ合う」からはじめる。そのために、事前に収集しておいた意見を短冊にして黒板に貼っておく。冒頭に追加の意見や質問などがないかを確認しておく。
・「比べ合う」から「まとめる」段階に入る際において、意見がまとまらない時や自治的範囲を逸脱しそうな場合には、適宜助言し、「提案理由」や「決まっていること」に立ち返りながら合意形成が図れるようにする。

◎提案理由を踏まえた自分の考えをもつとともに、仲間の考えを受け入れながら合意形成を図っている。
【思・判・表】(観察)



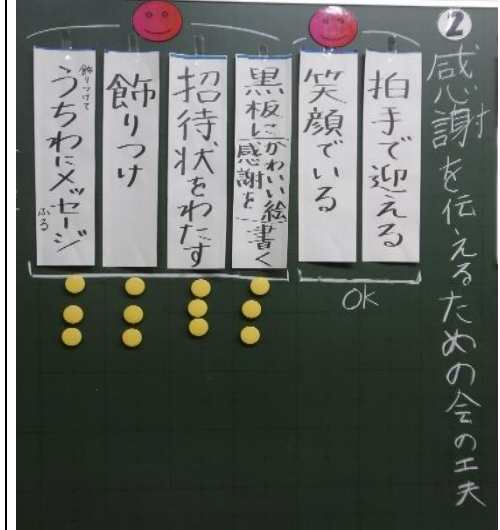
生徒A：色紙に一人一人のメッセージを書いて、似顔絵を中心に描けば2案が合体できると思います。でも、似顔絵がうまく描けるか心配です。
生徒B：絵が得意な人に似顔絵を教えてもらいながら準備していけばできると思います。
司 会：Aさん、どうですか？
生徒A：それならできそうです。
生徒C：手紙と色紙に寄せ書きを書く案が似ているので、一緒にできませんか？
司 会：そうですね。これで、手紙、色紙、似顔絵の3案が一つにまとめられますね。他に案はありますか？
生徒D：「折り紙で花束」に賛成です。花束をカラフルに作ると、喜んでもらえそうだからです。
生徒E：2案をまとめる考えですが、各自が一つずつ折り紙で花を作り、それをまとめて花束にしたらどうですか？

<決まったこと>
「何をプレゼントするか 二つ」
①色紙 → 各自が感謝の言葉を書き絵や似顔絵を描く
②折り紙の花束 → 一つずつ花を作り、クラスでまとめて花束にする

「一緒に楽しむこと 一つ」
→ 何でもバスケット

話し合うこと②
「感謝を伝えるための会の工夫」

・「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の流れで話し合いを進める。




<決まったこと>
「会をやっている時の工夫」
①拍手で迎える
②笑顔でいる

「感謝を伝える事前の工夫」
①黒板にかわいい絵や感謝を書く
②飾りつけ
③招待状を渡す
④うちわにメッセージ(振る)

みんなで分担すれば、全部できると思います。



賛成意見がたくさん出たところで、「準備時間の中で、全員で分担すれば全部できると思います。」という意見が多く生徒から出され、全部行うことに決まった。

<p>話し合うこと③ 「役割分担」</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「予め当日の次第で決まっていた役割」と「学級会で決まったことの役割」について、おおよその人数を生徒と共に確認した上で決められるようにしていく。全員が役割に携わるように決めていく。 ・ミニ黒板に提示しておいた「当日の次第」と「学級会で決まったことの短冊」を話し合うこと③へ移動させて貼る。 ・名前マグネットを使用すると時間の短縮になる。 	<p>◎感謝を伝える会の意義や話合いの進め方などについて理解している。 【知・技】(観察)</p>
<p>【予め当日プログラムで決まっていた役割】と【学級会で決まったものの役割】の役割決め</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会 ・始めの言葉 ・感想発表 ・終わりの言葉 ・お迎えに行く人 ・何でもバスケットの進行 ・プレゼント贈呈する人 ・飾りつけ ・うちわの製作 ・黒板に絵とメッセージを書く人 ・招待状の製作 ・折り紙で花束を製作する中心の人 ・寄せ書き(色紙)の中心の人 <p>役割分担のおおよその人数を決め、立候補により役割を決めた。人数に偏りがあるときは、司会が移動してもらうように声をかけた。</p>		
<p>10 決まったことの発表 (記録担当の生徒)</p> <p>11 教師の話</p> <p>12 終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・終末の教師の話では、①学級として合意形成を図ることができたことへの称賛②次回の学級会に向けての課題についての指導③学級活動委員へのねぎらい④実践への意欲を高める話をする。 	

6 事後の活動

日時	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
<p>10月18日 ～22日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントを製作する。 ・感謝を伝える会の準備をする。  <p>折り紙で花づくり 教え合う姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントの製作や会の準備が協力してできるように助言する。 <p>色紙</p> 	<p>◎準備や集会に進んで取り組もうとしている。 【態】(観察)</p>  <p>折り紙花束の</p>
<p>10月25日</p>  <p>笑顔がたくさんみられ 暖かき空気</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「用務員さんへ感謝を伝える会」を実施する。 ・終了後、振り返りを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知らない所で自分たちのために仕事をしている用務員さんに感謝の気持ちをもちながら、一緒に楽しい時間を過ごせるように助言する。 	<p>◎集会の目的を考え、友だちと協力し責任をもって準備し参加しようとしている。 【態】 (観察・感想用紙)</p> <p>1時間があっという間に過ぎました。用務員さんがずっと笑顔でいてくれて、私たちも幸せな気分になりました。人のために協力する大切さを学ぶことができました。(生徒感想)</p>